

死んだ野鳥を見つけても 素手で触らないで



12月19日に白老町内で回収されたオナガガモの死がいから、高病原性鳥インフルエンザウイルスの陽性が確認されました。念のため、しばらくは水鳥がいる水辺には近づかないようにしていただき、衰弱や死亡した野鳥を見つけたときは、次の事項に注意してください。

【 注意事項 】

- 死んでいたり、衰弱している野鳥を見つけた場合は、素手で触らないようにしましょう。
- 鳥の排泄物等に触れた後は、手洗いとうがいをしましょう。
- 水辺等に立ち寄って、糞を踏んだ場合は、念のために靴底を洗いましょう。

【 お願い 】

- 野鳥が死んでいるのを見つけたら、胆振総合振興局環境生活課、または、白老町生活環境課（82-2265）までご連絡ください。



◆◆◆ 連絡先 ◆◆◆

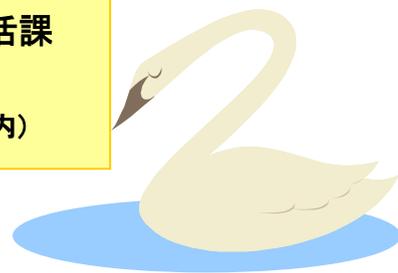
白老町生活環境課

0144-82-2265（直通）

北海道胆振総合振興局保健環境部環境生活課

0143-24-9578（動物管理直通）

0143-24-9900（総合振興局総合案内）



鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。

日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には、手洗いとうがいをいただければ、過度に心配する必要はありませんので、冷静な行動をお願いいたします。